

## 平成23年度木のまち整備促進事業 採択プロジェクト一覧

No.	補助種別	プロジェクト名称	建設地	提案者 (建築主等)	講評
1	木造化	山王 HOUSE PROJECT	東京都大田区	(個人)	<p>日本舞踊の稽古場を併設した施主の自宅と賃貸住宅からなる、2階建ての集合住宅の計画。</p> <p>スギを材料とするLVL(単板積層材)を、床梁及び間柱として使用するとともに、通常、角材状であるLVL(単板積層材)について、複数のLVLを積層方向に2次接着してパネル状にした部材(LVLパネル)を外壁、間仕切壁、2階床及び屋根に使用する。</p> <p>準耐火建築物としての性能を確保するため、界壁は石膏ボードによる被覆、2階床はLVLの燃えしろ設計とするほか、外壁には新たに1時間準耐火構造の大臣認定を取得予定のLVLパネルを採用する計画である。</p> <p>LVLの積層面(接着層が見える面)をそのまま内装仕上げ面とすることにより、内装工事を不要とするなど、構造材兼仕上げ材としてのLVLの活用の可能性を広げる提案となっている。</p>
2	木造化	仮称:サウスウッド新築計画	神奈川県横浜市	株式会社 横浜都市みらい	<p>構造材に耐火集成材を使用し、外壁開口部に木製両面フラッシュ建材(はめ殺し窓)を使用する、地下1階、地上4階建ての大規模複合商業施設の計画。</p> <p>本計画で採用する耐火集成材の柱及び梁は、カラマツ集成材の荷重支持部と燃えしろ層との間にモルタルの燃え止まり層を設けた3層構成の新しい部材であり、今後、1時間耐火構造の国土交通大臣認定を取得する計画。当該部材の使用により、木材をあらわしにした、9mの大スパンを有する商業施設を実現する計画であり、耐火集成材の活用の可能性を広げる提案である。</p> <p>また、「木製両面ガラスフラッシュ建材」は、小角材(スギ、ヒノキ間伐材等)の両面をガラスで挟み、シリコン素材を用いた新開発の技術で封着することによって生じる空気層により、断熱性と遮音性を確保する新規建材であり、間伐材等の利用促進に貢献するものである。</p> <p>建設予定地が地下鉄駅前という立地条件や、建築物の用途が大規模複合商業施設ということから、多くの人の目に触れる機会があり、建築物への木材利用についての普及効果が期待される。</p>
3	木造化	ミサワホーム事務所ビル新築工事	静岡県静岡市	ミサワホーム株式会社 / 株式会社ミサワホーム総合研究所	<p>新たに開発する木質系複合材料を構造材に採用する、木質ラーメン構造の3階建ての事務所ビルの計画。</p> <p>構造材は、木質接着パネルや木材等の部材を組み合わせた中空構造の部材であり、工場で生産して柱及び梁として使用する。</p> <p>生産する部材の長さを一定寸法以下として運搬を容易にするとともに、材料の種類(寸法)を絞り、工場での生産効率の向上を図る計画。また、柱・梁接合部及び梁相互の接合部は、ボルトを用いた容易な接合方法とする。さらに、高ナット及び結合材金物を介して鋼棒にて梁部材を現場で長さ方向に繋ぎ合わせることで、長スパン(最大約9m)の架構を可能とし、木質系の構造部材を用いた2方向ラーメン構造による大空間を実現する新しい試みである。</p> <p>防火面では、構造部材を石膏ボードで被覆して準耐火性能を確保するとともに、中空の構造部材の内部に石膏ボードのファイアーストップを設けることにより、火災時の延焼拡大防止を図ることとしている。</p> <p>3階建て以下のラーメン構造による大規模木造建築物のプロトタイプの一つの考え方を示すものであり、他の取り組みの参考となることが期待される。</p>
4	木造化	(仮称)サービス付高齢者賃貸住宅ふたば建設工事	三重県松坂市	株式会社 キハタレーディング	<p>丸太組構法部分と木造軸組構法部分による平面混構造の2階建てのサービス付高齢者賃貸住宅の計画。</p> <p>丸太組構法部分の耐力壁は、大臣認定を取得した準耐火構造によるログ壁とし、軸組構法部分の一部は、燃えしろ設計による準耐火構造の柱・梁とする。加えて、新たに大臣認定を取得した、内部に強化石膏ボードを使用し表面を木材による仕上げとした1時間準耐火構造床を、丸太組構法及び軸組構法の両構法部分の2階床として採用し、木材を積極的にあらわしとする計画。</p> <p>丸太組構法にとって避けられない現象である「セトリング」(乾燥によるログ材の収縮とログ壁の自重により、ログ壁の高さが徐々に低くなる現象)については、丸太組構法部分と軸組構法部分とをエキスパンションジョイントで繋ぐことにより対処するとともに、セトリングの影響を受けやすい階段、エレベーター、浴室等を軸組構法部分に設けることにより、丸太組構法の弱点をカバーすることとしており、丸太組構法を用いた大規模建築物の整備の参考となることが期待される。</p>